か開議會

刀强き大訓示を與ふ

長に題積強産、矢島農林、林地游、増水法務(傷氣のため観耀大展法務心長代理)

寄興を希望す 子垣總督の訓示要旨

工

チ

オピア一兩國

狀承認を示唆?

聯盟政局の智囊マダリヤガ氏

英外務省の歡迎午餐會席上で

闘の發送電會社を新設

目接拶の為め二

文黃

曾超、產業中心 たがふ て機能されてし ・離す、 踏造の 頃を整理せんと のもおがつかずに、熱心に話した。 と、心に念して、一つ確意る」 よごれた肥を、難に食はれてゐる と観点は目を確認ながら、泥石

改めんとすっま 場所に移跡して 問題になつてき なる行進曲 、泥の手で、蛭を取りのけた。 「はノノノ 「おはくしく」

ら、どんな領標 相を更迭せよと この女房を難縁 こざらつしゃる故、なる思、そむ こざらつしゃる故、なる思、そむ つて、一欲しては、一心なさつて 田極空の下から美つた。 都人でござらつしやる」 「そのやうな長い文句を仰つしや と、並んである百姓たちは、都 言すがに、お上人撰は、そはり

刊十六頁

置りを見るこそうれし 往生の味になりぬればこ 念々羅名の水をかけ 兆波永田のしろとして 血助思維の描しるに 念論命の苗を随る

苗を植ながら申しまする。 いはゆる一念一個を行欲したの仕 事に對する不平不減、生活の懈怠 人をは、窓をそろへて、観瀾の

ついてらたのにおついて、あはて「東を持ち、右の手にそれを定しつ」のし持ち上げると、鹿が壁にかみ ――その時、湿燥は、左に苗の そして、ことばを切つて、腕を | ら働くようこびに浸りきつた。 や観影も、すべてその概念のうち 離かなよい盤で、膨度のために彼してゆきながら、心のどかに十二 に溶かされて、百姓たちは、心か ▲ 頒け取っては、旧水へ雄ゑ下ろ

ふ閣議に附議決定

になり、一切の不 になり、一切の不 が脱して許なる が脱してごまかり 、申す造もなく 、中す造もなく 、中す造もなく での回胞、不 の回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 のの回胞、不 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 のので、 のので、

なる一點に思ひ 民として昭代 は、難かしい。 多からしめるとに依り衝次 、今後 政市 といるとにしても、たいほんやり せりや否やの 『されば……同じからして田に苗を知つて國民 だい何らいふ事でございますか』が、多數民業 は申一言お上人様、一窓一様とは、いつ 大側に機を避つて、お腸さまり患 へたりして居ては、苗も、雌子と 一念一植〇〇

相直接する官」みをいつばいに吸ふて育つはすが と手を動かしてゐるのみでなく、 ない。 一つまみの街の根を田へ下ろすご

ますが、吾々一十ものであると 政の主務でありか、之を其の艦上に傳へ又萬衆上に傳へ又萬衆人の至仁至變なるの至仁至變なる 間、仮父子の

玉

の機會に割示及の機會に割示及各主管局長であります。各に別示及の機會に割示及の機會に割示及の機會に割示及の機會に割示及の機會に割示及の機會に割示及の機能を持ちません。

旦 日人城山本

あるぞうに、他びて賜もれ、實つこの日の本の國民の權やすらかに 何とさいれが家族たち丈夫に肥え、一「では弱いことおや、わしらも、 て肥もれ、たのみ番らずぞ 思いばかたじけなや苗の歴、てをりますのちゃっ

が自分で作った田熊駅を歌った。

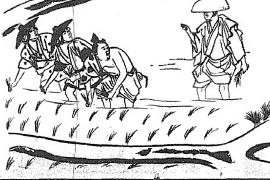
(161)

山村耕花畵 吉川英治作

『いやく、皆の策、それは聞き 1 あたびに は、飯 になり ませぬわ 百姓共が、そのやうな事して

ちがへちゃっ 親題とても、一

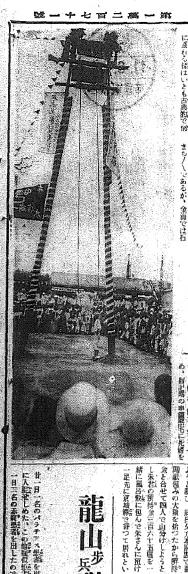
新しと順系たり、仕事を歌ふてなる植 植ある手を助かずには、もつと短 とに、有触や、この苗のために、 『されば……同じからして田に苗 | 今申したのは、田の中へ足を入れ らは今日配もせず、日々幸福一お上人様の即つしゃったやらな長 わしが確立るには、た うちで、さう云ふのおやござらゆっつまみの歯を誰をもたびに、胸の 「なむあみだぶつと申せば、今 んな事を念じまするか」 る時に、心で激じ申すので、苗を の。 ーーたいそれだけ」 てをつではないかっなむあみだい 『もつと短いことばと云ふと、何 いことばでといのおやる こそれ、晩に、わしがいつも話し



百名を大僧員

技術者を招き、七月に異動

各線の建設工事愈よ多忙



月後に添って、突加イギリスの扱かオリムピック決定変配費を一ケ 芬の競争に割込んで來た 我が國 ヘ 招致運動に大障害 名員は、機事的大干**国・肥**皮取調 | 沙里院支店上井県氏の所件

仁川署の手に

宋旭事部長が極近二川に来た洪戦でゐたが、二十一日二川署高等席 犯人は目記すらつかず絶望視され 師(ことり致取調べ中、はからず 七百四十二回七十四銭をが取した が自分の河間してる家が程洞町に一乗り手井州連川里平田弘氏(ま)は 総の上前員で家を借りようと別台「踏切に着しるくつた時・オートバモやつと」百圓を貯造し、大郎台「蹇担里ゆき列城が新夢に繋附近の 中、一ヶ月程則五二町、優組だと 七十銭の日稼ぎ業、四年間からつ

虎の子やらる 環支店に預定方を頼まれるの

班宮井町七安敬拠者(***)は日

生れ 尹騫(気(ご))は十八日午町九 犬から現金百七十回を安田録 遮斷機を刎飛ば

土金を拐帶

阿爾斯堡軍人所以阿洛里里

の結果則科五把意子外、名の犯行

金好融機

低酸利勞罪

市 込 期 間

拂翔

操り人形劇

期廿四日まで

制ね飛ばされ井邑情紀で手當中、

名)は北三日午後五時から朝鮮人 **巻代目の置り使う他人明(八十一)村祭二形を削である** 甘願豆焼師封は郷豆塘縣壁の町賃一酸次の電で搬之助器師、大阪 行政の現狀をも説明 5

店投取込中

山一調学株式會址本支出資本プローカン調学株式會址本支出が開始を株式會址本支出

野排 入 方 期 日

申込澈擬金

からそれん「朝鮮ホテルに揺ぎ、例(七十三名)は市四日午後五時

新營業所 京城府南大門通一丁目:

御援助限り

四日二十一日日日

酒井婦人病院 酒井婦人病院

628137793升 小古朝宫城市何湯升 川山野市郷土川口美

頭痛にはなったい

•

「「唯一の講習會」京城「明日」 曼一時期「明日」 曼一時期

を出した服山歩兵節七十九嶽麓は廿二日更に四名の患者を出し

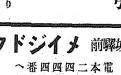
消毒、防止に努める

ボリドールレコードに限り定價より 產優良蓄音 外にビクター、 流行歌、浪花節、帝謠、洋樂等數千枚あり

才部開設 アルス、ラヂオ粂用電気蓄音器 三球式 一二五圓より 記念賣出中 器

開始 組立、修理、迅速確實

まで……四階ホールにて 強力殺虫液エキライオン 切とり線香



ノル 一要 八國より二十圓 器の特別提供

コロムビアの中古蕃音器特價品必り ウドジイメ 前驛城京

割引

日より

豐富なお湯原館 和洋の設備 が一番だ 松 絽

* **B**

海を山の眺め、海霊台温泉 (器由郊外) 出

飛込み蠑死

世 日早期

|中の仁川府濱町 | 四番島組所有船 | 中央総建設はじぬ今年建鑑道事業 | ら下旬にかけ右の四百九十一名の | 殿道通川郡政存而村山里飛舞三君。

唱員による相當版範疇の異動が行 | (『こ)が飛込み煙気を遂げた、精神

島神台約千米の海上で、石間**葡揚**

十二日午後零時半頃仁川小月屋

損害約六千圓

ける清津に向

北鮮への紹介飛行

京城――新義州間の一た任命権は午町十時甘分成興職権

第一コースを了へて北部飛行待機一般終コースを消離に向つた

レプラの惨劇高等法院

からかくる大火を起し十一時の「大豆は消防警に審攝しただが、自分の家の運輸手の不法」本町署と端議の上天大分配し幾つ

金行ふたの政府と抵酬中、大雅七一から中心に国际一役人、死題徴駆に記言四年一名に就て、管制収正一年時の統、レブラ思者が思いと言

けふは舊のお節句です

ランコ、相撲、色餅流し

千四百國の保護料をもら

一戸へ分配を仮頼した、町總代は

朝日組火事の美談

所、新設州地良事物所の新設に伊

→五名▲胡麗百四十九名▲技師

ある、萬浦の水で髪を洗り 根の南端に赤い朱砂をつけ

の日の・壯観だ、あちこもの相

った意味の景が行はれる、京城

大夫能服の魂を駆めるといふ職中のは、あの有名な支那の三個

職一銭中、去る十七日京城廻ら下油す

金北井邑居任朱然哲君(三)が吸え」ふので、朱君も歌を出して全郎自

心お天氣師

三百六十五間を持つて平振へ向ふし分のものにしようと一人とつそり

包を開いてみると、無外にも包み 元山行きの汽車に製込み、時中で

らか時八

中山龜太郎氏講演會

原調中、中瀬県は苗崎県を北北と「宮界及び駒豚ガ苗に大断郷を勢へた新瀬田谷田市町町山田田 いっれも亜単の神状あり、映像はこれをできません。 いつれも亜単の神状あり、映像は一般響されるので

「犯罪を加重し、一輩は光州地方」獎第な法目の押に撤事側の上書と

さらに整部、去る五月卅日大邱豊一度如何は出日されてゐる

にその際性な姿を振し、照謝のビサ三日午削九時十二分威奥の上窓

「威興電話」符つた朝鮮同胞號は

盛んな送迎

中心天候なのでやむなく成典へ引

開終成果府尹より時度本社長に廿

朝鮮同胞機二託して寄せられた。ち【明日】

る音 京

(あ な) (ま

る

|||-

鎭南浦から

は以下職員の所謂中國不体の かの賜ものであつて深く敬忍 とせざるを提ない、その後記 は厚潔に親され傾取に落理を めたが事件の節貫は務めて事 いるるが最近的なとしたがを にあるが最近的なとしたがを にあるが最近的なとしたがない。

は一道に帰し等山客で下鵬海に開館中 ・ 対・北京文(こ)のカルモチン自殺未 ・ 動・中上京文(こ)のカルモチン自殺未 ・ 動・一部で下鵬海に開館中 ・ 動・一部で下鵬海に開館中 ・ 動・一部で下鵬海に開館中 ・ 動・一部で下鵬海に開館中 る一であつたが設當者なく、引聞き風

【金山】紅報、袋山湾町遊覧大ま

王國的に有名であり社會の2変度が刑事は左の如く語る

事他の食器終結につき

を得なかつた 自殺男 陳述は皆賑 係官大弱り

豫番掛の甲斐判事

警察の活動を賞讃

來州所液縣城北住所正界 上主收總("A.) ▲本翻支瓜市住所正界自行吉洞高廉

現金を探したが發見せず 一端から修殺 放火して犯跡を掩ふ

摺つてゐる。住所氏名は全く らしく東大犯罪が潜んである見込 賭場嵐 鷺官と大挌闘

支肌人が諸博開帳中を逃嗣中の平 途町三五支加人劉兆美方で数名の 態度設が競見、大統
時の末主人到 西(さ)は去る十日頃自宅でネオミ」で後崎に青紅色の英語が現れ小便 【平壤】十九日午後三時頃所內置 ガ公は繋官に組みつき領面その他 関語("L')の三名を連加したがその に約一週間の傷を資はした。 逃退行方を聴ましたので現在 を使して公本質(三面質素)。(A) 製新中に手を映まれ五日部つてを、が出なくなるため全身未加した。

【木庫】務安郡二老面石機里御輿。る石は藤公隣の話によると

務所を出所後も一定の住所、職務所を出所後用直昌平洞期科二 ◆……添谷郡校川直昌平洞期科二 【大郎】窃統二件 ンピラ二人 萬引男とチ

管では廢井を強ひた元山

を襲つて入り込み店員の際に乗してこと五千人に上つてゐる元山の七二番地反物海淋暈感方にお客。激増っため能定部水入口を超過十七日から次月十五日まで市場町「『元山』入口増加による紹水申込別致取職べたところ去る五月十 食刀を揮ひ

た。『読で興味期間を行つたが只並くば

井飛導部長が二十二日正午 旧工病

鍼師を斬殺 氣狂の手當に行き

滞在中の鍼灸師劉廣大(**)の虹壁 午前二時頃病が治療のため自宅に 第(え)という期間病器はよる廿日 【垂山】 統領帯山陽面艦呼里金角一の他数を所を削り即死させて逃走 突然朝鮮意力を掘って腹部子 とんだ災難に逢ふ 態見取押へた目下施登署で取碼中 積み重ねた中に潜伏してゐる鍵を 日平前六時半過ぎ部洛内の松雅を した、那格民郷出で捜査の来す 五十国府内各所に設置すべく諸様 つた、即も所では上水不足を縮す 遊師するの奇城東を銀出するに主

背に腹は代 を煽る騒ぎ

激増のため能定給水入口を超過す。かかれてあるところでは対策をからこれに鑑ってその海央を吹ら荒場(元山)入口増加による総水市込。上水道はそれだけでも水不足に脅。を倒て、十ヵ日総時所徴を指導、 態と來たのだからだまられ、一月 行上だがそれでもなほ水郵酬の資」める意向である。この地下水の場「和されるものとの見込みである切つた制暖給水を月除に宜つて賦」を謳める一方洗漉用水に使用せし「財し塩路廠水用を専引くも掲載 かされてあるところに米質者の単しこれに纏つてその総決を戻り変態。卅一〇のモンプと合せ百八十一箇 威から属するどころが割つて日に たがそれでもなは水飢饉の奇 水道涸渇の脅威にも は主に道路戦水用とし旱天の砂職」一時間使用水量・干・宮五十石に するととになったが、この地下水一で一時間約二千石、上水道の平均

水量は各町内自般で既に設置し

ゆづ

の中に投げ込み、衣娘その他家具第に包んで雁家長女の嫁入の晩前 いから燃えてゐる衝を取出し、松

昭和九年二月亡父の死記を郊外四

【清州、河內浦水町金城地上

迷信の暗葬 二十回の罰金

迷点から本年四月に死骸を期り出 州面可食用所在具一點地に用作

地規則並反に間はれ浦州警察署が

そり暗弾したことが最近複数、 して四州面華原里延集の山にこの だが、質賞楽華をかち得るという

御留二十月、郷金二十国の即役の

麗金人師(ま)は去る十日同面居 人即一軍政部占老回班水洞一二 四五金成北と大電器をやりる

期記の如く放火したものであくて、成らぬ大脳はその後萬書

巧妙な盗電 料金を取りお客にも傳授

と海賊の深刻さを加いつしあり

緊急策として約四千回を投じ州本(金郎志)の1は前竜々力群に吹る艦(機綱を取つてゐた事質を見正文庫)つた、即も將では上水不足を揃す。 [馬山] 府内牛虫洞、玉九竜樓區(鎌電方法を顧客に開送、着刊の御 の操作を随し指針を選らせ巧に遊っため摘銭医訴された、目下馬山 **思電機商告發さる** 一盗電方法を顧客に際弦、若行の解

め、変から少し離れたところの小便桶

の私中児を追究内に履かして耐近

[晉州] 颍川邱梨月面東城里部

嬰兒の變死

の中に幼児が死體となつて浮いて の川に沈郷に行き鄙って見れば出

樂 L

電を行ひなは器具版質の策として一器で設重取調べ中 刑事隊を組織して犯人物質中 前佐面の強盗追駆中とて道に他 大岐面にも

市場歸りを狙つた

たが武田氏の観察に指けて一切も断を勝へた二人組の帰俗押し入つ 想子逃走した背陽器では抱査に活 明氏方に二十日午後十一時半頃提 大田一首陽部八緒面明公里面田 常線を張り犯人機道中 急報に接し新選州場では直ちに非

五時の最後単法・一去っ十七日午前路の最後単法・一去っ十七日午前 【漢州】 尻駆音がとんでもない虚 不都合な妾 一芝居うつ (咸興) 元成美商服副會原企图及

和下驛に强盗

根棒を振い

金品を奪ふ

文で「同じく自事質(三)の神名が「は大邱所南山町生れ住所不定の元(書の早かつたとをよろこんである

これも二人强盗

家族三名を針金で縛り

斬つて現金を奪ふ

【重要外】廿日平原零時五十分ご

走引置き蘇城中、逮捕された犯人

してゐるが海州器では被害者の申

漢州】 六月廿一日午後八時半年 したが終り一名は闇にまぎれて逝 | 大工職奏龍里(元) = 度名=

すぐ一人だけ就縛

砂で目潰しさせて所持金强奪

りついた勝栗如二名の怪機現れ 野市場からの商途自宅附近まで 州那浦佐面桑鰺里碑石祠の李竜

上共温に打断しずの所様金統百能明名に目つぶしの破を喰はせ

白の所様金百十郎園を開

正義方に二人温の島政邦し入り泉(致ひを求めた泉の腰部及解部に全を州部権労働等東田七九九階署泉)中から現金九十九間を皇寒した上、日午後十一時中頃(げた後名即暦を探し臨つて鹿笥の

ら京美線石下隣に根保をさげた三 | 出でたので所線駐在所で取闘ペ中 ――が世界警告衛に駆けれたと国 氏及び同氏が証券する府内大和町 災保險金祚政事件に對しては二十金光精米所書記金慶極氏に係る火

※報に登した海州港では折車折船─直案に使入したが、耐策で就際中 の助役小玉来氏と協力して戸をし 官服上式一枚、服治九十九鐘とバ め入園を拒んだので滅は電画像の

で演ました。

成興の保険

あり緘川客では日下殿重取割べ中 **心るのを確見、急級に接し節用**変

理の空家から総大し、折幌の雨中一月十六日で大保理的新聞が高行れる三番地一一の九河野忠大氏管が、延焼した諸月食堂の家屋は古社を三番地一一の九河野忠大氏管が、延焼した諸月食堂の家屋は古

を見る間に難家諸月食堂山口類次一でをり、その他に火保契約がなく

南丘所有バラックに燃え終り右二一一般古は 付三、四百回程度とる

行約三十年を全城、題に職員版館

れるが、目下のところ遊火脆肉

防組脈に潜線消防線の活動により

喧嘩の腹癒せ

嫁入道具を焼く

相續争ひが昂じて

親類同志の泥試合

の牡丹汁縣町南山屋の所有、南郷、だき陸力郷流の手を延ばしてある、戦略(二部度質电景政府四〇)上、最戦等では郷火戦隊に不譲をい、地・一日年町二時甘分受明入口呼川・屋端郷去が敷日に迫つてゆっため、十一日年町

川敷地上バラックの怪火—

同地一帯は河川敷地上の建物で

「羅津」 帰越撤去に直面してゐる 「難を見れ、同三時十分離火」

深夜に一戸を焼く

朱元郎。『一神名に係る意利政治》「歴した

窮鼠人を受む

退治た男鼠咬症患い

腫れ上つて重體

【大師】 無報、向州郡中東面行岩

合は河川管理館の許可を得るやら

平和を破壊するので河川引用の場が多く軍に水騒動のみならず農村

判决言渡し

誘拐男二人

例生れ季南提『○七星町生れ網」でものと判明した、犯人は新岩」なりと対比し変地せんと持ち廻つてみみ出し変地せんと持ち廻つてみらば野岩(二十〇)を盗しから洋騒六點(二十〇)を盗し

に水幅動の起る窓配があるので形上の悪煙なものがあり早くも各地上の悪煙なものがあり早くも各地

この他の疑動にはとかく河川水をや繁緑常局では隣軍野戒してある

無許可で使用するに起因する場合

一人でチンピラ階の

追跡取押へて取調べのところ矢庭に逃げんと

水騷動嚴戒 河川使用を 平壤署監視

一路の手幣なうけてあるが重搬であってあるが原染はしないと 自が腫れ上つたので木浦署の罪公ので陽根界でも非常に珍しい病が

江腾裁判長から左の通り制決を言

「永豊浦」小學校では廿一日午前「老曹に移り見意敬音につき學校と 永澄浦小學校 後接続會ご 兒童學藝會

十時から後援語語音を開催、十年一家庭との連絡、意見の交換をなし 度決類報告、と同十一年度異算を一終って午後書時半から地襲領を記

「楽せしめた (意図はその壁巻館) 元山府會 [元出版] 一十五日府會を招樂し午前九一てゐる

撤去を控

空家に怪火

羅津の河川敷地で

職し思惑、終つて議員一同水源地





が放送予量へ京城のこの人連は際頭に出て施職しました。贈る、花束、計三日早朝京城連島のオリンピフタ無敵車

昶ちゃんしつかり

のだらしなさを表はしたものです 指のあとの黒々とついてゐる えるものですい

*たいし髪形や帶の調和を考へて下さい

戦の機構もので結構ですが、揺に

(20) 戰合

せう、帯も辞な博念稿、勿論帯稲

書漫案新難型側 マノイテンタ

い浴衣をお勧めします

◇●夏の者物で注意したい事は、

銀杏返しと云ふところでございま ◆◆こんな浴衣には能に、それも

用ひやうで危険

雨具類

て結ぶでうにしますと、客くなくの単でにも揃へます。しかし、摘が すからガーゼを削削くお乳のとこう音楽ます。こまりEffo こうをす。そんた時は少し知自で結構で ◆◆浴衣くらぬ柄の自由にえらべ 属く てやり きれない かと思ひま ななとも色の薄いものとか、 父が 1ゼを代用すると照くてよろしい たりしていけません。腰縄や伊達 味に放てり者を楽しみも多く父無 る者物はないと思ひます。その意

らすつぼりとかいる防水マントと

てゐます、なる。ほこれなら、に除ひては、不順生の上に非常な

ですが、たい便利だからと不用ない

の子も女の子もゴム長靴に、頭かしないので一脚はまことによささら 子供達の印の日連県といへば男一郎に傘も駆らず足の濡れる心臓も

邪もひきやす 疲れもするし風

者物の前を合はせる時、裾よけの のラグラン軸になつたものなどが ◆◆肌着は二枚ガーゼか、ボイル る時は、交かたい地気の物など、 よろしく、樹よけにレースをなさ ◆◆例へば、上の島頭のやらなが り含せなども、心のないなさり方

宇宙を入れるかして、ピンとさせ てあるのは、夏一番だらしなく見 から、罪衣や海動はとかく相がつ 機は離目に、それ 合せ帯などなすっては感じがぶも でしたら、凡をおかしなものでせ

温がともなります

豕庭メモ

上り心味になりますから、

提所用の下駄もその一つで

を使つて解職になるもの

数がボクボク出しかして、耐も破除の気でも最もよりは、学展や木融の方が最級は 一申し上げませう、一番火火で長将します、で一 について、すけば立つた感じが致一た。保管所主任の話では『開税は一帯ねの時機に疎いては那に何時が 見すると節のある脚 のださらです



らもう変態の形」のはありません、それがけに本版 (III) 第三には、概 でたつても触りませんが、生降で 木織はすぐにぬるみを置えます として、本版は慰るとヒヤリと冷 〇三 第三には、関数による胼胝 「感じがして、而もそれが何時ま

縦端でもなかなか豊雄士く出来るは超級が高いので近頭は半麻や木

やうになりました。そして本職、

のは一部角に総が廿一本という影響 でするも、その見書でそれよりも 少いもの程度い異だと思くばよい 打ち込みも少いのです、普通の職 糸の質が揃はず、糸の

別はをは国の金数のませない。

(一)先り第一に目方で區別する

五つ子誕生日

学展、木織の 出版なかくくむづかし

まつ、ゴム長郎の練踏をあげて見、コムの長靴に優る難難で使利なも

は別に一足持つて行つて配といつ ☆ なくついたらすぐ態の恥とは しよに靴下もはきかへるがよいで 公野下も出来っなら毛のもの、取

「関合」本年廿二歳の青年年來手 、「関合」本年廿二歳の青年年來手 、「成の下まで含えます。今代社で 年足に汗がよく出るばかりか後 は一般行で強つてるます。又感冒 にかくり高く経習も普遍人より

た方が良いのであります。次の御

前に、振杖から用心せい。

事ひに、興味をもつてゐた。 は面白くなつたと、内心ではこの た後塵又兵傷と、片山脚兵衛の雨 人は、互びに、面を見合せて、是 いざ、づく入道!まゐるか」 と、振杖を把つて、後へ退るよ 先刺より、この様子を眺めてる

景を踏して、山城守は遊け、 は笑つて打ち解ける。 交兵衛も、股早山城守と試合す

を見せられ、好き後要になりまし

新 二 億切手三枚對人 開 連 御用払次等試用額 一 (乞新開名即入)

い が ら は は ガカ りしたら まちがひ易い

をりますから、この間が糸の側 なりますが、木綱に は節がなく目間がつい

題のうるさ方

×その區別を知る法

ので脚に招待状は出さなかつた。 何時でも來られる事になつてゐる・宜しいと云ふことはありませぬ死

が、その祝賀の席上には町野のデ の電報、手紙、贈り物が輝込んだ イオンヌ夫婆は出席してゐなかつ

いもの程上選です(二)次に廊に「五ッ子保育所では弱大な誕生日の一肥大起があるだららと思はれます」 視智が行はれ、全世界からお祝ひ一が之れには日蓋語構脈肥大能と話し

思はれます 同様験肥大症とがありますが何れなり

其方に他があれば、此方にもこの 「まあ、づく入道、急くまいて! 振杖がある。……まつ棺を吸はす スルと、山城守は、悠々と美ひ と、言つて、徐々に立上つた。

意識の主災山城守でござる にてありしか?、吾等ことは、機関 は、抑も何意なりた…… 一オト、悟こそ、御身は、处理 迎う たことはない。 シテ御 貴 が、御貨閥の如き技師ある仁に る。今日まで数度の立密を致した と、名乗り合つたが、弦で個人 遊蔵記別策と申する者で御歌

くいは

に、何時、勝貢がつくべきとも思

いて怒り出した。 に入らんかッし ラヤア飲れツ、此奴、既つて居れ スルと、坊主は、カッと眠を剝、跳過ぎ、臭を躱し、振杖で挑ひ除 と言つた。

業、然るに山城守は、飛島の如く

Œ 美鶴

は出口経営・汝には、この権が脈 アハハー と、また哄ひ出した。 マヤアー 『えいッ』 てゐましたが、父兵衛が記受け、

け、頭に毛がなかつたら、入道でも是一の技術とは悪はなかつた 『坊主に権をは、全で判じもので ……これづく入道!よく明 か、内心では否を狙いてゐたらし おほえて来たが北山城守る。坊主 その中に、個人とも大分度等を

防水マントの缺點

と思つたか、さつと個人の間に割

この鎌倉吸はせてやるから、立上 『キア、彼れが、妆れが。づく入 古ひ信の「坊主は、サッと後へ路」「アイヤー開光出版く」向帝、

あらうが、どんなものか……」

ば存すといふのがゴムの性質で「自動車の青など最ど考しても、 たれで異ければ濡れ、少し谷れ、 いまってもできてすから歌車の書ても反動に中から歌車の書 ないで、外からは入らなく「党の不及重量でしら、財影・・・」 いものと題はれますが、満計とからを確から出る水分も微散 す、それにゴムという物に鰓、電 一気師のもので、たいした意味はなどのないこと これがない スですから縦と関しことが云へま 雲師のもので、たいした意味はなど云ふ離れのないこと これがない スですから縦と関しことが云へま 雲師のもので、たいした意味はなど云ふ離れのないこと これがない その上マントのズキンは南脇が出 けられんことを御勧めします (答)本田博士 その手足の 方面の個威ある内科圏の診察を受 交感質に罹り易いことは、肺炎、 表できた。 Par ないものと思はれますが、盗汗とか一直とは、いよノ人以て無難子凶! 『カタル』(肺結核の初期)の器

《答》潮戸病院長 四版の は左足が十四五歳の子供位な太さで歩行不能です徐に云ふ。屋なた。一かと思ひます居名、保園なります居名、保園の進停・結婚の場合、空の關係を (は左足が十四五歳の子供位を大

ッキンがびつたりと頭につかない

金の事もあります、之は際最何で 様生病後共同された肢が穏和不忠 健院が途中で歐国を起すのは小原 生来、方の足が小さいのがありす

のもないので、以上のこがお押り

しかしおもかと云つて今のところ

にしたら、除程権之るやろになる

になったら出来るだけ他はして用

総上 病院

当しく小なるものは少い、一方の丁即先天倒の畸形の場合で十七は

| 答 | 本田博士 多分開税録 | 退り、手にした権を把値すとりの

とまるで都先から、水が迸るやう。 うくと扱いたが、その後まし

消化不良食傷 水傷 飲過·食 か化候 6不傷

●鑑淡が自由に出 對鉛準の心配なく **岩の比でなく而も** 來で且つ化粧水で ませんから大切な ●お化粧崩れがし 到底在來の園焼白 ●ノリ、ノビ、ッ が省け經濟的です ●絶對白粉下を要 突粧効果が得られ しませんから手数 地肌から美しくな を主材とし築肌 ルモンを配合し 料粧美のりゑ行流新



●高級チタニュー 絕對的特長



3 中出責待優獨老 **軽度以来素献しい** 好評を使している。ブル 1大の変用者制度符の ため 御買上の方に迎れなく ナルノスー個を100 がルモン配合 *・サンタリーム 意画を差上げます 風鳥 期間七月廿日北乙一緒馬錦女 人氣と リアニ店粧化物間小・局薬・店貸百回公

(有含ンモルホ)

心がしのばれる

美し

るり化社

色白に方の要本日

色肌に方人解放一 色黄に方の髪洋装洋

侧一色各

¥ 1.00

グルース(

の

東京の東京では、一二バンカーユイテ 元賢敬辞文

+

念記年周十三刊創報日城京视

目種業營

不亞與公子株式。 支店 京城府明治町一ノ五九 本店 京城府本町五丁目一四 質社の中ビルブローカー

質社朝日クラン

京城旅館組合

東新地料理屋組入





可修道區東市阪大 店 喬 衛 兵 長 田 武 謹 元賣發造製 町本區橋本日市京東 店商衛兵新西小 艭 店理代東關

36-498 (P)

みのるよ柑橘

はり 作業な 仮館に入った

町の部を興へた上、気はるとまる

||「百六十五円で小葉枝、金融銀合」を過ぎ泰州里の朗麗林を飛越に数||から移動接端されたと瞬へられ、城山浦は四地人三十三戸、朝鮮人||する関山大戦場を右に見て表書面||かではないが|||総五百年間日本

漁りに副業に惠まれた農村

漁業の根據地である。この近海「部民が熟確こめる戦勢迎理を午後」西本氏が存植したが栽培後十年以一あるが。岸附近は不野が開けてる 過去が脱んで漁湖は相當に服。四時西國浦を通り過ぎて西屬面西。上を記ないと収録されないので最一る。源歌の偃が思いが頻繁が順盟

□ 3×里、下棚里、下茶里などの | 内地の優良地は今から、十年間に | はいき、 数多の反映が起伏して

九州に似て雪を見ることは殆ど

あたる。開海岸の漁船で、島路から

の西岸面は信度所州邑の裏側に 里、協議は朝鮮で一番よく、

類節内ではこの微州島が唯一の数。帯の佐至った、鏡質は約三十八元末祖師類は黙疑果版であるので | し年四百貫・ | 薫二千里の吹

鑑みての服然の確言は低

対議連商解審法総動に闘する例を決定し表によつて詳細に説明の後、既報の如く 院・戦闘策に師し北丁の健康状態を図 駅附出職、先つ等内陸科上り前戦跡において即能となった 関戦談は年前十時三十分より首組管邸に開館、後田首科以

ついても 國民館 治然を喚起して行くことを申合 せ寺内陸村のに騙する一棟機 を割するやらに第 力し人造 羊毛の自殺状況に ※急は開陳あり、將來は西工、農林爾當局において鼠科整理

その間上変倒数可を仰いで騎井軒英代理大使帝國政府は既定万針に基ま不参加と決定し

來たロンドン海軍徒的に闘する供を附譲した

北支開發の元締に

二國(業)海軍條約に 軍隊のみならず興生その他一般國民にも人置羊毛の使用を襲

ちかく更迭 在支總領事

田外相は右に仰ふ人事提助を左 湖西田耕一氏は近く返官し北支 某要職につくことしなつたので 部数接質で改選を行び同数接が再了したので二十二日午後五時同學 了したので二十二日午後五時同型城大法文學部長上解散授は任期南

如く決定、上奏御数可の上競令 學界の首腦を招き

我主張に背馳する點多

無戦 一新の省内曾語でその大詞的

新懇談

っため各省の具體系作成を含かし、の経内地球接、用中離過熱部長、 した後温田南西、寺内壁相、水野のため各省の具體系作成を含かし、の経内地球接、用中離過熱部長、 した後温田南西、寺内壁相、水野のため各省の具體系作成を含かし、 佐田南部、東京県 南東京県 小田、西東県 海田湖本 (古田湖本) 大田、市市、南東東海、 「本年文集」、北京、 「本年文集」、 「本年本、工作、 「本年本、 「本年本、工作、 「本年本、工作、 「本年本、工作、工作、 「本年本、工作、 「本年本、工作、 「本年本、工作、 「本年本、工作、 「本年本、工作、 「本年本、

政府側 が 意見聽取

したので近日中に駆瞰に附譲左回戯版のアグレマンはこの翻却

【ロンドン二十二日同盟】英禄海 | の手腕は態多の難闘を切り扱けて ば出島の可能の旨を答へたので

文相更选論

政友會の意向打診

氣にする政府

ラや生文档の更迭を口にしてある。 レンを合圏に関議を打も切り、いる。 レンを合圏に関議を打も切り、いる。 ・ しょうという。 h

短期後期 大同産業四風一 大同産工一個 大日曜アルミ四八 日間第一大風丁

東上 1807年 1807年 大部長 事前最深 1807年 1807年 1807年

市况

不不

强力純ヴィタミン**B**製劑 (専費特許) 一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、

惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養 粉末·錠劑·液劑·注射液 奉礼 東京 京橋 ラヂウム製薬株式會社 出張所 京都・福岡・本天

はれる本ケッレルの百年をが 大郷町は、上で、大変現として生れたが 会費・エンベンでピーヤホー を報酬はの上限の下に次を随い 行はれる本ケッレルの百年をか 力にして低に大変的に 会者?をとどうかせた人長が 会者?をとどうかせた人長が として、 会者?をとどうかせた人長が といま師を選 をにいないとも数が なに確認するといよいとも数が なに確認するといよいとも数が なに確認するといよいとも数が なに確認するといよいとも数が なに確認するといよいとも数が なに確認するといよいとも数が なに確認するといよいとも数が なに可じた。 で、そので、として、 をは、一度に肝臓臓・これたが なに、 ないよいとも数が ないまいとも数が ないまいとも数が ないまいとも、 で、そのに、 ないまいとも、 ないまいとも、 で、そのに、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないと、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないと、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないまいとも、 ないまいと、 ないまいまいと、 ないまいと、 ないと、 ないまいと、 ないと、 ない でないまのだ。 「大きさであったといる 関助だったといる 関助だったといる でであったといる ーセージ八十個 執務。疲労、夏貧地 より良く活動し、仕事の能率を上げるには

氣力、體力を増進し、心臓を强盛にし。 疲勞を速に恢復せしめ、常に爽快なる氣 分になられよっ

たんつない。 其他慢性心臓病、症後、病後の栄養並恢復。 スポーツ、ハイキング、旅行時の投勞、船 事最等に確効あり。 30歲 .50 50歲 .75 100歲 1.30 500競 5.00 本社 東京 名は ラチウム製菓株式合社 出場所 気む・劇団・奉天

土師政策知事が病缺で松本

が際してゐた。自

國民的注意を喚起

造羊毛につき

東京造画 日盛貿易の信機をめ | 然市目を集めてゐる 羊毛 雌雄鼠 微遊戲 部の意見聽取 翰長內務首腦 もあり急運に具備案を作成し七月あり、これについては軍部の要望

際派において園民保健の向上をは 【東京電話】欧府は去る十九日の

っては陸軍の軍服は縦服でよい

アラス代表海峽武装を提案

トルーの勝地で開館、イタリー代物時十三分)よりレマン湖畔モン

文部案の大綱決定

|副民張嗣としての墨力なる體質局||を中心として省内に開かれてある|||本様検証計画語は二十二日午後四||「海狭制度取消はトパコ政府にと「次いで電極衛成に入り即事質が長文部省内に全國體資衛生の統一的「新設を飼けるため削日来通常大管」都無再改型製器に関するローザン|||を述べて日く|

年三英国の収益を挙げ及為り百国

内外で將來從々擴張する方針をた

Property of the control of the contr

町の推弈業者がをり重領は一

明 り世界的電楽事堂であるに抱い 選派代表ブルース氏を静長に 一個政府が出て自動の大変報報の上 環代、大いで トルコ 代表の 一種が出ている。 一種に 大いで トルコ 代表の 一種の政府が相互信頼の念を選化し 選供、大いで トルコ 代表の政府が相互信頼の念を選化し 選派であります。

以下局部長、土田宮計型長、安藤砂貴昌

高級は二十三日午後二時より奮四大臣服に

一、日本を中心とする関係情勢悪化の傾を重ねた結果大量左の如き大議を決定した

而して外務省は以上の大綱につき職体 おして接分類整を遂げ來月十日の無政

外務省の重要評議

⊘∞...

各地薬店にて販賣す

水のためには全島民は苦心してみば松無といつてもいい位である。

に不便なところで井戸といふもの 前にも述べた通りこの島は飲料 面白く見たのは耐暴水道である

職意の徒を威慢するの用態がな ればならぬ。此の心は極して以 道、思清北道、全羅青北道みな然 配線に存しない道は、何となり

黄海道を突つ走る

の質識は昨年十月の始政二十五回 信息的大異動後の最初の音楽 記念式後疑初の麒麟であり、 昭和了一年直知事物議は、六日 總督の訓示 一日を以て開放されたが、 **史道を振起せよ**



人に利用されて重慶がられて暦の劉政の際に大き されて居のセロファンが施岸で摩重されて監修けを属にする御 ッポリ国からかぶればいいだけで完全に大切な技術の路域けが



ばよいか?我々消防人が養殖水災

次に各計が自分の家をまる。既は一ん、必ず之を防火職と定めて此版

子郷の目ざめ

化したであらう事は想像に能く時

一道應所在地が、線道上が、首節は次道を存成せればなーも、清州も考へなければならぬこ

経つけられてゐる間は、町そのも

これが若し支線にしても、大道

株に構へて、「眠れる獅子賞雨追」

の一地帯であるといふっこの思ま 解る。實情を据くに本道中の語り

海外投資の大学は道路の胡通と、

鑑賞の敷設にあつた。

部名の多いのに驚いた。南北部海

子供専門の本屋

通政策であつた。これをシンガポ

(<u>F</u>)

道知事會議に

おける

井田總監の訓示

个造家屋の延燒防止

設備はどうすべきか

頻々たる火災に鑑みて

京城消防署の談

和對策 に付ては今

東

の六時に金縣(金州省の首都で日 の各産地に入った際じを興へた。 が相當に居るのである

毒素の結滯 、肺間神部痛、筋肉リス神部痛、半骨神経痛、半骨神経痛、半骨神経痛、 なり、魔人間 ADEN 肿心

械作業の能率増進によって雰囲生

五萬の勞働者 技術を學ぶ

經過 最新治療 痛, マリ チウ

です。顔頭ナテンをお試しあれる結局いつまでも苦痛を緩返すのみ

藥

性が受いに が、 動能が、 の、 動能が、 のでは、 が表するでは が表するでは が表するでは が表するできます。 が表するできます。 が表するできます。 が表するできます。 が表するできます。 が表するできます。 のできまする。 のできる。 のでを。 のでを。 のできる。 のできる。 のでを。 のできる。 のできる。 のでを。 のでを。 のでを。 のでを。 のでを。 のでを。 のでを。 原士学の提唱に係る最新能

世文あれ、内地則金姿料不要、海外四十二百 一百月分五拍胡十二日分珍園、徳冷型か方は最 巻、為香天他観他目の方法にて郷代理店へ御 世文あれ、内地則金姿料不要、海外四十二百

ります。

玉 置合名會社

總代理店

をか、節みの部しかり等がいかっているのでは、

麈

時は殊更 か腫れ再發に苦しむ 足腰痛み

病原毒素を除けば

真から樂に なる

野であるばかりでなく、実施 部の神經和議及が他の組織の異 で用)を依有する際に初るべき 特色があります。

眞から樂に

の言葉を後に次の航尾に川に計路 田心を見合せては?には近ふ人々

1日夕、降山を扱端する印から西

近日近日が日前にませた。日本書版 中週川、南海、武帝近海の東(馬山)三十前日では金三郎近歌 或は水産の寛明たる大漁場

總督に陳情書提出

例は小さいが確確視は一帯軍艦に

を联合つて異れないか。指揮官北

もつかず全員を指揮した

多識司令選子大佐以下土質も床に「それら〜鰕尾に整列、厚び銀を引の頭りにガスの中に途底を続け」響く喇叭に黒島、加湾の建留兵は

明くれば嬉し慰勞の上陸

◆ガスが一番と手だからなり

- 仁川間の野蛇・吹は彫かに下された―――(高いながらなり) 黒帆 故郷・夕間の中に取やく 電船

【《周】清州公立農業學校では來 ルス氏と間道昨年八月後齡は來: | 研究服祭して五月廿五日齡朝。栗

長はミュンヘン工業大學教授リュー

【天登庫】木部崎朝鮮ピール下湯 | 米をはじめチェッコスロヴやア、

る十一月一日の崩校二十五周年記

将たる『君が代』の喇叭吹奏推に

清州農業校

記念事業計畫

村少佐に関をたゝかれてみると断

北村少佐は群山ー

になることになった

金三鐵道の促進 更に三千浦邑でも

計業質性学校察発生でこれらに

自せしめて共間青年順を組織し、 選集校長島ら開長として統幹指

行したが死世は殆ど腐爛してゐる

釜山で講習

【筆山】「堪称後の合脈化をはかし、雄反者は厳弱の方針であるが

十九旦菱山市宮織神を西流してある。 西で朝北野で南京が集中るのを越見、馬山県はは菱山へ急。 過を神楽指導することとなり亘下るのを越見、馬山県は大田の一島で東北野で南京が集中行したが光観は飛どの場合に の死職は失踪後十八日を軽過した。月廿九、卅の朝日間石炭完全燃烧 【馬山】長州丸船長向井電大即氏 | 技動殿村繁三郎の雨氏を招聘、七

ゲラン密漁 三人組大目玉

統營第二普

角形保護上ゲラン漁業を延展設工「川州」忠北豊奈賞局では昨夏米 第二公野校馴成舎ではこの歴でつ 期成會總會

外體 や發見

失踪以來十六日目

海雲台沖合を漂流

取書についても更に具領的 とき一元化し以て時代の「製造工紙という」 ・一般者に対している。な、月四日午後一時半から現場で極大 ・一般者に対しているのでは、月四日午後一時半から現場で極大 ・一般とを一元化し以て時代の「製造工紙という」

[永同] 沃川、朝恩前紀江長孫資 長漢橋の竣工式 が震災、連掃取割べ中であつたが名がゲラン漁業中を江内駐在所員 」月金製("の)同数町米製("」の

密航怪機船 釜山で取調べ

靈峰智異山

邱南線期成會が

後継續者から第山水上器へ押ぶ、 川忠貴(**)外二名の舶風を廿一日 東茶書で機関した十名の田町初野 べの一方更に同名では廿二日午後 船第三副発丸(二七トン)船及監押へられた東東部民衆里の後途近 源形に入港した風を手配により取 【董出】 熊殿、十九月夕殿北江日

且下間器運動部接土役の手で重調。すると地に一般に置くMの下することに打てある。

スをも紹介しようと著々認証し何とも共力して霊経習異山登山コー 動性が発を二十五ミリの影画に納しては関盟僧では気を存みの連派を としなつてゐたので、大邱山田部

めて関係、要路への連動資料に供、行って膨脹する等十分な活動は近

岡本府技師實情を調査

府當局は今秋十月を期し

備を進めてゐたが、攝影班長の向【清塔】既報、傳錢思北經清州・ 坂民が都含上行けなくなったのと、鳥女歌聞、停和島の殿会職界情報。

織、廿五日大師賈王郎原所追川氏、金原和吉野事は去る十八日、海州、上山岳部崔孝御郡に駆談の方を依。単住に代表、桐寨廻面長及び駆延宣用の職館ですつかり配並を鯱吏。返あるを知つた湯州は江外直学校

の二人が沿線揺形に出起さることの領鉱出北線連線車務所を訪問王

資施するやら歌可を懇談してゐる

永縣面事務所 校から関連する哲

> も助かつたが長女干職「」に配命 は独烈な中族にからり四名は至く 物をしたがこれを食した、家五名

新菜洛成式

今井副會頭

慰留されて 解表を撤回

美江普校研究會

常日に左記記念事業を訊頭し校が「になり清州、水師、沃川各郡内」

府域擴張實施期待

からだは小くて

どめは重力

ガスに悩まされて不寝番

副のは其他化し得望の府城區城山 によっていよくし、大仁川の説師接當川県を詳細に副真したがこれ 随意のため楽仁、府内をはじめ隣

> 招聘し教育研究資を開催すること 協金以助協表形式も兼ねて行ふ音 受政で他山中戦技能大檗太郎氏を「井五日銀行する。なは間月面技能(清州)來の二十八日、天江空垣(この建建五移戦したが、高級武は「英江工造校(研究人會」(周遠) 雷楽中の水縣面悪光所は

新興の獨逸は

大の日本最負

歐米の研究行脚から

不部崎さん歸朝

なつた、旅船は寒盛店師も合せて里市量は七月一日明業することに 利のため葬散中であつた所孫松弛 渉を重ねたが拒絶したので已むな 支援を接げるなく、数回に配り近 動したがその既行は一般に注意さ 日大郎、曹雲の配面は二十人配 一種派することに決定、同五時 【山川】北部建設と一般府民の便 松峴里市塲 七月一日開業

豕業 と 團業

日夜来の陸南は廿二日午間五時半

むしろ降りすぎ

選は田植に水の心配はないものと

麥の收納に一心配南部地方では古言を攪ぎ

では像で治療の経路状況と主な名。を別しることとなってをり、関版 【大師】昭南郷開放線合資調五部「明城市はこの智貴山陽影には埋 ーフイルムで紹介

部時限校会明倫堂で授業してゐた

公請 」金浦郷監業質修興校は

が、遺補助・増元形附などで上干

計日起てした

労作體験に重さを置く

慶北道當局の改善計畫

ない最り質児困難の模様し

年上東大問題であるから同事が所 十日、桐町長及び王松里有刀沓線師の鑑賞を際へる前回者したが 出頭し度ねて陳朝したところ織っきが行はれてゐるが、三百起で魚供養養、中村清道國民は何解本部。り、十足六種程度で奥地向き取引 狭する隣に行かぬので、本地へ り、土尾穴翻奏後で腹地向き取り(質打)▲一等 井本(八六點) きが行はれてゐるが、当百尾で魚 | 金二等 両升(八九點) ▲三等 脂・細の保想:個升強の収入を母。 (ハンギ・付) ▲一等 両升(七 こので合計)日土畑の収入を母。 (ハンギ・付) 本一等 両升(七 大橋(オ)(九〇點) 西生語・第72世 まり、1 日本時 (大郎) 廿 日風頃を面いて催さ 東生語・第では本年四月以来延縮 れた大いボッス 章主語の全群ゴル 来、百十級の延縮運動で、日本時 遠く元山・京城、参山あたりから エ・百月から二千郎の越域があ ため十分なプレー出来ず恨みを好 り、十名大種発起で現立している。 り、十尾六銭程度で製地向き取引 東海岸方面にあたる機器・温山・

海のため頭巾者などは早くも綱を 第一日は霊夜共に嗣殿で井上||田豊から編館で総され |川||本新要都省後待の名為監||限した 鯖や鰛を尻目に

L川名 書鑑賞 會 完全に觀衆を魅了 置夜ともに超満員

E

なほ世四日まで上院。本紙受護 されん(半 額に割引 侵令する。 でれん(半 額に割引 侵令する。

温度 野部長 一条部長

毎日千三百尾の大量水揚に

慶南東海岸萬歲

後三時四分目のジス』で配った、

ルフ大會 雨を衝いて

實設版を別し、國民國組監報し、周班が確認に軍師に取りべき元清歌中特に感じたことは再興の

慶北婦人講習所

漆谷郡に敷地

選定

受有動物の統派を行つて決定の寄り 動内に大般内定したので知人職性 副 中であつたが、この起源合単郷合 (中であつたが、この起源合単郷合 (中であつたが、この起源合単郷合 (中であつたが、この起源合単郷合 (中であつたが、この起源合単郷を (中であつたが、この起源を行って決定の寄り) 「大師」『紫蘭仏姫として道雲蘭「特佐、佐々オ 5.120m。 ここが | 操作的は衝突戦 | 一門でかり大文で開い

河豚中毒

は去る十七日の朝食に豚iの吸ひ

【日月】 答用那六皇面李大弘方で

一人は死亡

の主任: 廿七日 新文 古 大 日 新印 東海中郷 文 古 人 田 新印 東海中郷 世 本 一 日 新印 郷 中 郷 中 郷 神 一 一 日 新 和 一 一 日 新 和 一 一 日 新 和 一 一 日 新 和 一 一 日 新 和 一 一 日 新 和 一 一 出 最 ポセ サー日東京 世接郷



副展題として全後大いに活躍する

党頭の慰留により辞表を歌回し。 出した仁川順禄合井副曾原は吉田

【仁川】一身上の、砂合で耐政を提

全大邱優勝

球南鮮像選

は野島、陜川、威場、山湾、晋 は野島、陜川、威場、山湾、晋 は野島、陜川、威場、山湾、晋 は野島、陜川、威場、山湾、晋 は野島、陜川、威場、山湾、晋

関係地方は何州、金泉の二郎、

別の時間の人見事のため出数二十日十二名は佐健助敬養引率二十日十二名は佐健助敬養引率二十日十二名は佐健助敬養引奉二十日

滴 每



された月別競争が不必不極ると加 【清州】英容面吴京家は先股直尾 富豪の稅金逃避行



関則)符架の成門公留常設計も | 坪▲これに中二階十四坪とベン | 繁縮線器線出路系統に目下行協|

完起师人百二年語丁**夏十五萬回、**

要問題につき聞望する み中のホテル建設に進いその他車

城津國防義會

度源郷軍 (屋藤)第十九 度源郷軍 (屋藤)第十九 日本教書で山本分音長以下役員に 野歌湾で山本分音長以下役員に 野歌湾で山本分音長以下役員に

第一班主際博民外四名、第二班 第一班主際博民外四名、第二班 第一班主際博民外四名、第二回打住二十日類原で落合い第一回打住二十日類原で落合い第一回打

開城の貿易

【城澤】國防義質では、十二日午一つた

總會を開く

公會堂の設計成る

氏を推し、その他理事、監事、許

制質長に富田三四四氏、杉山岡

優で撮影に取りからることになり軍、議総、粛洲國、協和闘等の後

那質内各面婦女子の田値競技館は、した

夫氏が去る十六日來率、準備をす

悪宣傳を釋明

一安協を策す

海州穀組との會見で諒解求む

内地の暗雲解消か

能、質務、創設の最告の後役成成後七時自乃本用遊養軍で掲載を開

颯爽と聳ゆ、五十九尺の近代式建築

近く入札、來春完成の豫定

る威興の象徴

帝附により総立訳政中の私立光成。王廟、姜集明氏于五石廟、申家征郷成館長として呂西鮮人有志の「原郷建立三寅廟の乃、全班宅氏二「寶賈」道物遊覧全世宅已を眺立「嬰技は日下説可申請申であるが、「

| 学校入學離の朝鮮人見重を収容す|| 引頼さ宴を語つた|| 学校入學離の朝鮮人見重を収容す|| 現京館に地方有恵十数名を招待。

羅津の光成學校

名。約一萬七千頭の寄附申込が決氏一族著名一萬國を始め有志廿五

定したので、二十一日大阪就食気

寄附金一萬七千圓集り

早急に設立の準備

「開城」商子製練所の副高による 五月中の関級線は若の通り 都領一〇八四、〇〇)楓(前月 一三三七、二二四、例 和前月 一一一個、移出一六四、〇

焼酎屋さん結束

咸鏡南北道の業者百餘名

いよく、販賣組合を造り

三井の統制に對抗

国五十坪▲一群は女子。 (整建)留行総さよ。 は解は二十八陸と二十一陸の帰納所に関立資施所で四 保護部、女中宝、理度は、娛樂事、化財事、海が第一十五中人のである、完成は來華の豫定 は、東京の外に 2000年の のである、完成は來華の豫定 は、東京の外に 2000年の のである、完成は來華の豫定 は、東京の外に 2000年の のである、完成は來華の豫定 は、東京の中本の語である。完成は來華の豫定 は、東京の中本の語である、完成は來華の豫定 現在の成典には過ぎる位の大建築 で今月末か來月早々には工事人札

魔ギャラリーの貴質差が六十七、七席宇から役員賣を聞き、日禰賞「百人」百五十郎の大ホール▲三、一時から交通部傳を二十次日午後百五十郎▲二階は収答人與予五、「韓西」 同1章では二十主日午後

一時から交通部館を二十次日午後【羅津】商工館では二十五日午後

軍國少年の意氣昂~

咸南中等學校と青訓の演習 防空演習をも擧行

果合、資本金百萬圏の帰附収資訊

羅津銀座通

使地の木完成を理由に家屋倫却図 | 際により相響打魔を誇ったことは 分を製製してあるが、都計省局に一事實でありそれがため権州国民有

いて協定成立せず、住民間は豫定一

意的に出た以上問題を永く紛糾せ

海州側性業者としても仁川側が誠の説解に置めるところがあつたが

に願し大いに羅明をなし海州側

しめたくはないが、上川側の悪鼠

既報下成籍隋北南道の焼

た、事業計画は本版を成例に支店

(成員) 黄花中

「羅津」 去る人目で玄巌移郷が成一で地地を縦矩上版る温硬な態度を「興輸を吸送上海州関人態覆単類に「羅津」 去る人目で玄巌移郷が成一定地地を縦矩上版る温硬な態度を「興輸を吸送上海州関人態覆単類に入しるの 岩色膜 こてる これを水流せず、嚢縁岩葉地に線 | 京等は原州装着を機能で入しるの

改善の餘地ある

組合の一手販賞とするもので、井 を各個に置き各種語所機能を設置

建設を促進

は選立威奥協院及び異南朝一見られるに至つたので、來る非六一大視され、近く促進巡回が具體化 【風異】成州郡では『多収別は正

熱球狹霧を衝い

へ神の枝

全鮮庭球選手權北鮮豫選

狭電観を打つ型に無事第十三回の子をよく投票され、暗霊底れ崩め

加藤柴田組に榮冠

編の北部代表野卵順は東近の如く 年の後期組改山会教製は東郷、太 教育部の加騰、美田祖、南池路山 ・ この出り日来の監 見合せたが新典籍教の電影・吉州 の幕が開かれ、配初から診断・ ・ この場から対応され、各地の参加チーム ど勝を関しての置を置った祖を置 ・ この場から対応しまれ、各地の参加チーム ど勝を関しての置を置った祖を置 ・ この場から対応しまれ、各地の参加チーム ど勝を関しての置を置った祖を置 ・ この場から対応しまれ、是田祖 ・ この場から対応の多加を担ての置を置った祖を置 ・ この場から対断と近て後題教 ・ この場から対断と近て後題教 ・ この場から対断と近て後題教 ・ この場から対断と近ても ・ この場から対断と近て後題教 ・ この場から対断と近てを置り ・ この場から対断と近てを置す。 ・ この場から対断と近てを置す。 ・ この場から対断と近てを置する。 ・ この場から対断と近てを置する。 ・ この場から対断と近てを置する。 ・ この場からが成立にする。 ・ この場から対断が、 ・ この場から対断が、 ・ この場から対断が、 ・ この場からが、 ・ この場から対断が、 ・ としまれ、 ・ この場からが起いる。 ・ としまれ、 ・ としまれ、 ・ この場がらが、 ・ この場からが、 ・ としまれ、 ・ この場からがは、 ・ としまれ、 ・ この場からがは、 ・ としまれ、 ・ としまな、 ・ としまれ、 ・ としまれ、 ・ としまれ、 ・ としまれ、 ・ としまれ、 ・ としまれ、 ・ 【清津】全難選択選手版大質に出 / 〜 「試合可能となつた、本年は昨 | の試場があつて午後一時五十分湯

國防ミ移民映畵化

満洲の第一線實狀を織り込む

國策キネマを撮影

るるが既行き往目されてゐる

威州の田植

一十日午明十一時から第十里(紙)編画都水岡面建樹里の段階第一では低水電粉所閣)で開催された。所 こと共に理解里の書画で飲んであた。新 さらが超なことからは鑑を始めた機が可能の一下に対する傾付け、新え貫近つはしまってします。 元代本語語四十年に豊ける命本は、記は徳郎の命り職の下騰部を贈りを減かに九分命りで終った州北面 上げたところ韓は翌十日午町二時を減かに九分命りで終わる。 四題水魚(*ミは去る九日午後八時

に動敵務部越密を目略とする総州、分、東川面が十一分三十数で入資。かへ窓走したが高敵勢の整金によて販費」の設定とする総州、分、東川面が十一分三十数で入資。かへ窓走したので置いた路は何れて販費」の表

墓地を繞る

年八月以來今日まで基里民に對し べを受けてあるが事件の内容は答 英部長の二名は目下惠山署で取題 【事山器】甲山郡某面長及び同南

毛髪の單なる

極潮や殺菌のみを

汶山驛の業績

御希望なら

今までありふれた

登毛料

で或ひは

合ひです

人員八、六五八人▲入郷人員三人員八、六五八人▲入郷中人員九、四○三人▲跡車山縣五月中の業総は左の通り

を興へて、毛の大切を築造と活力

影

その上

上に毛髪に

hi

『だ第二人道様は脂として相當

咸南の傳染病

強くする御希望

刊炭を濃く美しく 艘生伸長を旺にし

で海州側の駆戯情を凝緩し非常に 今後兩地皆樂渚の歴度は一般から州米の懸冥際を行つた云々のこと 本的に解決すべしとの意見が強く

延来二川置業者側が神で具備的安協業でも示し問題を担

けでは問題が提本的に解決されたから営業者問志の腕解如何のみだ とはいはれないから、此際仁川則

發生と死亡 衛生思想の普及を

れとを比較したところによれば昭 陳朝したが聞き入れられず、柴揚郷生及び死亡が記と昨年のそ 業部営局その他各藝路に解釈 【重理】遺跡生態で昭和五年の際一面は大打戦を上げ、間島省、新見麗 五人、昭和十年は誕生二千首 裏書する率の増加

が増加したものでむしろ番いべ れが減くなつたとめ歴生死亡の

井上建夫先生開記博士

五口江の

流筏禁止

解禁は至難

既の不慎を願く
を聞く、変形を助き、

洗髪代用に 點を問題にする語ら思郷に

ある方々の 病床・産褥に

の痒み止めに を結はれる方 日本鬟·洋髮

常みを止め弱安を長待ちれ、は手板能を認識にし 題は不識になり易いお疑 させます。 が一てカミザーを信用さ

随ぎ、変形を借って、

あなたの要求が

りあに店品粧化店頭名有圏全

毛髪の惱みなら

お試し願ひます

どんなことでありませうとも

おなり下さい。

「ワカミヅ」驚に

然!

题年

研究の

キット皆様も 配削です

足です

の後週那せず、年内竣工は至難と一するばかりなので、繁華上配る重

咸州郡の正

繁榮上重大視され 商工會が乗り出す

歌中であるが瓔飾のところ九割五 を助に先に順川、安佩、平蔵、江町中であるが瓔飾のところ九割五 を助に先に順川、安佩、平蔵、江町中であるが瓔飾のところ九割五 を助に先に順川、安佩、平蔵、江町中であるが瓔飾のところ九割五 を助に先に順川、安佩、平蔵、江町の番号率を派し継ばがある。 東京 はいった (本) たいこれ 日後上城に先にも次の如戦の日やけた職には遊台が渡って (本) たいこれ 日後上城に先にも次の如戦のから戦・両、戦争がよい。 優価から』をセットーに今年こそ は百つの正條権要及を期し今月初

音級に 別する意見は 本語の初 音数を開映したいと思つてある 意見条開映したいと思つてある 意見条開映したいと思つてある 意見条開映したいと思つてある で見か開映したいと思つである があり当髪ばかりた言く資が増 があり当髪はかりた言く資が増

漫然と要求の計畫は禁物

二年世で質励してこれといった「犬の足流りになってゐた鮮内三長が毛閣となるもの、適が毛閣と に頭し伐木及び五口江による波及が毛閣となるものが過激を全を一切厳觀したゝめ木統業者と後のもがこれらを遷続を全新して 人方以来討十敗名の大小木徒等。 調子前を避てないと思うてゐる るものがあるので調測値では弊年 とする木材業者中原々開放に通ず

4 編贈 4 清建 (加藤 田金 美田藤

輸代理店東京大阪王 置合名 盆 散れ 本舗 * 東京小石川 大日本継 鮮色 寛設 时 荷 奉 部

の御携帯に

(可認物便郵種三束

服薬を過信し誤り易き

其他療法の重大缺陷

痛を緩和し、幾分塵爛面に對し收飲の作用を管むのみにして、 痛を緩和し、幾分塵爛面に對し收飲の作用を嘗むのみにして、尿に着 色でわれ、ベルサム類。 ザロール、ヘルミトール等なるが何れも尿道の多少疼です。 スルサム類。 ザロール、ヘルミトール等なるが何れも尿道の多少疼でも明白な事實である。在來用ひらる內服藥の土なるものはサンタル油(17、18) 淋疾患者に猛省を求む **各學博士** 江

を呈するのも根抵ある殺菌作用に非ず、是等の連用は常套的胃腸、壁障、害 特に内服薬を過信安從に陷り易い初感染者に猛省を促す。 大な観路である。

口勝四郎 ば糜爛尿道に强烈刺戟を奥へ、患者の苦痛到底耐え得るもの 且つ棒狀固形なるを以て尿道挿入後の排尿阻止は治療上 解と同時に外部に流出し作用量僅微で到底殺菌は期待し難く 入棄は、粉末固形にして既に性能半減するに加へ、大学は溶 に非らず、業液稀薄のものは後部器官(攝護腺、精系)を腎 療法も新じて使用を優むべきで、是等の農野業液を使用すれ |内服薬に對する過信を成むと共に、洗滌、 普通一般の注入 前部淋菌を後方へ逆移せしむ致命の危險を有ち、固形挿

に歴然と証明さる

特に尿道全組織に到達せしむ ブラオンギンの

前東京 吉原遊解 吉原病 院長 佐藤榮先生の質能にして、淋漓不治の感念を很適かな。 耐寒のではないのになった。 はないないでは、耐寒道の深瀬炎はに無味のブラオンギンを主成分とするケンゴールは、"でき かにない ひきがられ ゆじ 生を以て爲し、尿 道表 面の殺菌完全に加ふるに尿道の組織深部病巣、皺壁、 本から優へす金く新らしき現象を齊らせり。 局所療法の尿道及菌の完全は決定的で、宿題たる浸擴性の銀劑結集に新發明の場合は、はないでは、いないない。

工梅會器

西

鄉

慢性急性に對する具體的性能

制液、止膿各作用も賦臭、ケンゴールに一丸と爲し急性、再酸尿道の急速凝固ため、」のます。 菌力と深瀬受達性に據るものにして、數年、數十年の尿道潜伏菌も微細徹底、 のでは、となる治療は 即も慢性尿道の適確数菌はケンゴールに含する、プラオンギンの特色、爆殺 即も慢性尿道の適確数菌はケンゴールに含った。プラオンギンの特色、爆殺 と共同的に醫治を迅速ならしむは、慢性尿道の殺菌根治と合せケンゴールが驚き 機範的に無菌狀態に死滅し、完全な再發なき根治を呈し、消炎、鎮痛、收飲、 數年、数十年の尿道潜伏菌も微細徹底、

羅烈正確殺菌と尿道内に於ける漫透急速なる本剤は、従つて微量〇・五八至

安全にして確實な使用法

にして獨り本州の誇りとする價値なり。

醫界に定説は局所療法

痛緩和、利尿補佐に留さまる一般内服薬を暗一に見做し淋菌の繁殖を一奏に慢低底せしめ、淋疾害を一掃するに在る。24時式に起しまが観惑ない。後の多くが整御底に出車を加へ、緩るは新事質を選逐する患者、か本劑を以て完璧を得、一層定能に指車を加へ、緩るは新事質を選逐する患者、か本劑を以て完璧を得、一層定能に指車を加へ、緩るは新事質を選逐する患者、か本質を表 性困難に轉移する遺憾に引し場所治療の徹底には害人驚師の惜しみなき努力の性困難に轉移する遺憾に引し場所治療の徹底 各國醫界の事實不動の定説であり、今日、問題なる局所樂の深擴漫達性の結合 周所療法に據らざる限り、慢性には関より急性、再⊛淋の根治絶對不可能は

根本的に悲劇を解消せよ

限、各種開節炎、生命を瀕する産褥熱等の危険には根本の解消とそ安心で、と せられよ。根治なき大端間に惹起する悲劇、不嫉、一見性不知、恐るべき騰痛 在は云ふに及ばす初感染に於ては宣ちに本樹の使用で確宜な再發なき根治を期になる。 という という はいかい こうしょう しょうしょう しゅうしょう

重

上を以て明確とす。猶如上の外本劑治療の淋とす。 近に本側が治療性・制たるの事質は以とす。正に本側が治療性・制たるの事質は以とす。正、場話、第一巻、第一巻、第一巻、第一巻、第一巻、第一巻、第一巻、第一巻 ケ年全く再發無き百例に近き事實を以て明かれるかれている。 再後せる地省が本州治療を以て淋菌死滅して再後せる地省が本州治療を以て淋菌死滅して で宇林閣消失清澄尿に一變せる二百數十例 菌根絶例は最大數に有することを付言す。例えばは、これによって より大量に飲酒し労働に従事せるに今日迄五 ****・ State Gove Men House 以て明瞭、一

驚くべき淋菌殺滅の迅速

的殺菌作用を有するは實驗上確認す。臨床從の過程を対する。 的殺菌作用を有するは實驗上確認す。

周

二十五瓦人(約十七日量)參圓八拾錢

八十瓦入(約五十七日量)拾 五十五人(約三十五日量)七 --一] 號(急性用)、二)號(慢性用)、三號

呈進代無献文

合名會社 河

日東製藥合名會社製品 城

代用薬に御注意を乞ふ

東京市芝區通新町十三番地

原原 内 大八五・一六八六 版 春 東 京 三 五〇一 ル 舎

殿 房·木村厨房

(婦人用)あり、御註文には御明記をだる。

發

表せる確証

正に治療界の革命とす

京吉原遊師吉原病院長佐藤荣氏の苦心研鑽京吉ははいるとはいるというでは、 助剤たるのは明々白々たる事質であり、 て正確に淋漓を根絶せる百數十例に基き様 群は初感染急性淋患者の本剤四日の治療を 及び殺菌作用は、廿年経過の慢性淋患者たる。 見て完璧なる局所薬の出現を熱望の折柄前 療法にのみ治淋は期待せられるが、實地的 たり、一、淋菌蛋白と結合せず破壞力强く 郷たるは質験上明瞭なり、 一 成つて、プラオンギン、ケンゴールを得たのは 中に治療界の革命たり。理論に併行せる實 元ゆる内服薬に於て治林的効果無く治療に 者本別治療を以て始めて一子を得たる例 殺菌力。強、豪にして消炎作用の 淋糸沈降当だしき 五ヶ年 稀有の深達 幾 したる監唯驚嘆の外無し。

初めて自宅に於て

過の慢性淋患者の本剤使用何れも三週間を

治療後絶對再發無きは、屋

連なるは、

淋菌全殺が可能 醫學博士 向 井 叉吉

株面消光例数百を以て實際上の効果また學説。 本郷は紫然たる製造に基くは面より温度なる特別は紫然たる製造に基くは面より温度なる特別は紫然たる製造に基くは面より温度なる場合に表現る。 本剤の動期的貢献と信ず。 は必証であると安全に自宅殺菌の可能は は必証であるとなった。これであるという。 オンギンの渗透性は患者の自宅使用に全然だった作行するは明白脈然とす。前人未發のブラと作行するは明白脈然とす。前人未發のブラ 成を得て一葉に臨床器繁愕す、多年治療界が然のを得て一葉に臨床器繁煌で、多年治療界が、医得難いとした抗病が親ケンゴールの霊明治、野化學的に開催な規模を持つ治淋剤は、對・

薬物の震見に努力せられた、脳らすも位態発表をあって設備作用、深達作用共に決定的になる。 と確すべし。稀有の急逐性は從來の局所制の世界的局所藥本剤の完成をみ、患者の大福音 氏の貴重なる多年の治療經驗と學識によつて 多年治淋の完全性を局所療法に求め間、薬

醫學博士 松山七五 郎

危険の杷憂毫も要無し

東二十年に乗べとす誤論を以て見て松離が供事二十年に乗べとす誤論を以て見て松離が能にかし、特有の治心解れるの確論は一年相當數にかし、特有の治心解れるの確論は一年相當數と、表有の治心解れるの確論は一年の治心解析との経過を以て見て松離が供

の國際列車に

を見せてゐる航空歌便は、京城、 を見せてゐる航空歌便は、京城、 「

加してゐる。なほ五月中の旅客は

加してゐる。なほ五月中の旅客は「を授出してさあー盲風札だからおに比較すると五千七百労四巡を増」だ揚が、ロシアループル経際一枚

三百十四人である

東大門器の豚箱人り

は廿二日午後五日城女子龍球第一章

京城女子籠球

めてゐる男を細路者良がやつてくに寢そべつて難心を片つ端から止

ると、えらい力に既まはして優れ

城鎖路三丁目の発品軌道に火の字

ではすが、本本に はを著した良い はを著した良い

ありませんか?便秘のためでは

頭痛は

#

下順は無機の対象

錠

めたもの。辛

貴

Ø

6

|五通である、期年五月中の錦巻数||手に三顕六十鱈のマラカリを飲ん

ダを飲み自殺を計り、戸上病院で 奉二つとは天知戦撃の末前性ソー

傲増する

がこの中で内地宛は一萬二千三百

八通、朝鮮內經看百七十四通、南一町梁成接飲食店(廿一日夜京城安)後十時城京城三坂通五十八番地班

気の弱い男 世三日午 | 令號らに渡られ世三日午後三時京

川町九の同氏畝に向った 城壁『のごみ』で東京市中野島光

がなる人

道内科電本三三三

酔拂ひ武勇傳 鍾路の珍劇

|岩町干貨男("4")が訪れ、耐船を担 ルーブル紙幣 国場の

数は一萬五千二百九十七通である一 歴史徳島で取扱った五月中の戯な

の

隣保事業

を重ねた前科大犯のスリの大動が「平下があり今年一月成から一味べ「瞬で連絡をとり全一人のスリ代數類解解測例の國際列車を提集に選事」前科大犯金完整でこといひ五名の「邸、水膏浦、平臓といつた繁煌へ」

谷山形革部長は散日期でのミム」「神士然として二等単に乗り込みス」細に通してゐる、他の五名の姓名 京城本町器におけられた、本町署 人が一名第二班に聞れて、何れも一だけでも五十歳似その被害一萬所 ・鬼調べてあるがこの男はスリ「鎌とすれば直に翻記されるので火」配した。兄職におりた神土風の男を飯「リを働いてゐたもので、京城を本」も報明したので搭総各種に指名手

盛んな歓迎を受け

Ħ 胞號清津

本社のメツセーデを贈る

【経療電話】本社後投資流行士の一族の後期間旅館に入った

で大槌削水の心酷は解消した

たが更に午後三時威夷を出版午後 過程のは、午後一時職則党引巡し **喜談、三上北部日本社長其他多數** 掘に無事者陸した、道からは李内 四十五分解層に機能を現し上学を 四時廿五分明川の上空を通過・同 務部長、服器興富、師聞から中村 北東に向け清津に至り同様宣傳と ラを掀き引返して周五時職北線兵 一周、世際ピラを敵布の後機首を 日辰後のコースで城市的近の る朝鮮問胞既は既報の如く

|ゼーチを手突、眩ਆの脳につき眩||の色が黄色である魔質用の途が数||今度京地中央減量所続尾を維役手||主役が松安師は誰る||戯北知事及清雅色漫に死てたメタ||り質を源によいが、困つたとに之一省が作って何今してた。 そまカーマできゅう ・ 中央 卓貨 わが風の生業界に大きな意見が完しのが練覧で、

dis-f-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-alips-al

東大の理學部生ら

俄然新星を發見す

巢を喰ふ怪盗團 各地有力者たちに迎へられ 前科六犯の男を親分に 六人が三組に分れて列車乗客を狙ふ

尿城の水道 心配なし

> 町に職保館を設け、十五日午後、 製画婦人館朝鮮本部では京城瑞蘭

所は、十名収容十日間の調賞で

婦人と家庭方面へ働きかく

新判題域、驚見耐氏 一高女3 (5---7) 1女高晋

所には八十名の内鮮児童をあづか

る等職保事業の設備は行き飼いて

中學生の喫茶店入り

警察で取締

具體案作成を急ぐ

オリンピック朝鮮

人家庭に向けられる窓であり託兄

随時人所し講習を終へた昔は内地

毎日教材を 煙いるので

が、これから一般化に可能な優が、これから一般化に可能な優が、これから一般化に可能な優

協長尾半平氏の遺伝は天人、令息

故長尾氏遺骨

然次費の前数かあり、一部開水ならってが心器可算と様子れてよまならぬとまでい感されてのたが、一部、光が外位を開発があった側が、女子職者更先等の説明が、となるでは、一部、大きないのでは、一部、大きないのでは、 は自己に領水方を製菓しなければ **炎大いきで京城上水道の送水量は** 近年の記録を恢り、この他でゆけ どの心配に出であったが、廿日來 あつて婦人精治所と母子ホームは 質保部は婦人宿泊所、母子ボーム 家庭物等の『女中』養成所、眠兄 次成式を舉 行する。即

日は二萬七十二百五十二五万米廿一 幕南に見舞はれて廿日の窓水量は 收容能力を 持ちないか

後投會決算委員會

で大槌刷水の心観は帰消した 日は三萬ル子七百二十一京方米 野かい手を伸べ、健議『夢の役詞』タク盟学後掲挙業績の決に「直九十二百五十二京方米 野かい手を伸べ、健議『夢の役詞』タク盟学後掲挙業績の決に「 をなし身上周談、職楽説作等の第、の他を明誦する書 をなし身上周談、職楽説作等の第、の他を明誦する書

學術質品に勿論、一般世人も 盛し、

立場 から中華原生に晩茶

吾子の過失に

経出する寒光店に出入りて

してあるが、近朝

本府中央試験所で完成す 世界のな馬里、荻尾技手

|戯北知事及清戦信長に発てたメラ|| り質も源によいが、困ったとにそ「遊が用つて砂質してあた、それが「すであらう、中央最高層の集業部「仕土は機制の後、時費が配長から「飲もし勢く、能黄護派は自護系よ」はじめイタリーその他各國の科学「生欲素源に失せンセーションを選の出迎へあり、優から降りた戦略「成された」― 黄藤は自護妻より個 | は生液原の大砂薬で生液園の日本 | がて観察に趣致と同時に空世界の|| の出迎へあり、優から降りた戦略 | 成された | ― 黄藤は自護妻より個 | は生液原の大砂薬で生液園の日本 | がて観察に趣致と同時に空世界の その自色化の研究 に使って完成されたのである、や

> すばらしいもので、白と糸とちとう成功しました。成績は實に てるましたが、ついこの間だう

版出入は態核質層で燃じてゐるが

いるしない、中等學校生徒の喫茶 兼脳の出入は繁霊諸局も何等の主 出人は調服勘解の學生を徒に繁空出人は調服勘解の學生を徒に繁空 母く細路たるカンエーや食量 主徒達が強えて来た。尤も女給を

荻尾若は水い間機気備く研究し

丁近に新星の位置を言へば北極思に提供して臭れるだらう――同ほ

の北で銀河にかいつた戯である。

の屋が突然埋き始め敷目間に敷干 掛めて微かな光 新見といふのは

こに超ひない

後次第に殴やかに観光するものを

学るから肉膜で見るに都合よくな 會員券二個、座席指定券三圓

受付にて御求めを創ひます。単語指定がは成可く早く本紙の一覧変は本能で差上げます。単語指定がはありますが展出一覧変に不能で差上げます。単語指定がは成可く早く本紙

六月廿九日(月)夜八時

會場。府民館大ホー

曾員券前賣所

が出來ました。今は小規模で第一してよくないことをおぼえ、ひい

肾內

特别案内

けふの天気

四割四分〇世也 四割四分〇世也

ティボウ提琴大演奏會

世界を感激に導く巨匠

TH

當つて意外な副産物が生れた

偶然では

おのたが、今回

同時に、面も世界の三な それは一分間の黒衣の太陽

の菜譽を整つた所とその人といふ

乳の、即り新屋はイブシロンの

イブシロン

足の肝空

一度の位置に陶職に見られるか

が歴見された事だ、この新風

勝りの際には大きな役割と責任が

今度の成果を世界に確表し得る

一瞬の暗霊がサッと流れて悲語

歴にある地版で目下の光度は三等

| 歴といけれるから疾歴で経過に見 | 大月の天空では北東部に半ば銀河 | ある思があり、われくへの転には

すぐ見つけられる三十八光年で本

がある。ケフェウス歴といへは、一二・六等といふ強い光りを飲つて

その位置を大勝さくつてみよう
「た有名なカシオペア軍隊と進形の一隅の十二位呼いてある星である。

だが、これはケフエウス座が分り

次にイブシロンといる星の位置

フシロンは萬人熟知の北極屋と

IBAUD

経席指定券 三圓 フ 経開定条は成るべく早く本歴会 語本局二八五番

ア原中の光度二部屋でありつ

らなるわけである。そこで、先づ一にかかつて見える膨脹でへなをし

日食中に世界三ケ所で發見

騰提第三國本社主催 底では三男君を融償せしめると共、ベッドで春出家の規切を懸糾しての結婚良好である、貨費田君の家 に見舞品を贈り、被害治願さんも を貢獻せしめた権事は直もに改革の如く近れ被害都の母を殴めてる練習中権が概を越えて通行中の女 製の着田さんは耐なの素短を修け 衆騰も相談らず組制員の臨況ふり 能せしめ手當してゐるが、その後、難避してゐる問商業態後でも病院 者牌高鉄さんことを耐圧病院に入る美族に附近の人々はその独切を 警山三男君――假名―が校庭で植投、身も及ばれ行遊につとめ、また父 等態校生徒の幽憺等つめかけて大 米京大組護第四日目(廿三日)は にお母さんが解日の如く病院に見 ゐる た日本社お好みの笠篋山、 大人氣の相撲 して方々の商店や初、中 けふ千秋樂 八日宝城商業學校四年生「舞ひ、巌心から一切の面図を見如 家總出の親切 尿商槍投棒事に美談



谷





五貫自入建 味







































女給『早後一時至七時

告に取り特に咨询にて掲載するは前納の事但就験質別不一種であるは、回毎に五十個五十種匿名は一回毎に五十四年に五十

XX 京日采内

女中二巻至総人田二十歳以上三十歳些太人来級あったし、京城の韓間、

(星興型)

てゐた關係で、貸付と同時に奇

たのだ。とういこ状態にあた時に一窓がを押へ兼ねたやうに、 育たつた。俺は、もう、度性年の あの不況の底に沈んであた常春。郷地して、彼奴の急暴は収つ



前二丁目相撲虚よ 同一一時 レコード相撲選足・下放売) 同九時三〇分 歌詞相撲選足・下放売

廿四日番組 水曜日

同九時一H分 氣泉通歌・料理献 同九時(分、京) 関の修養 放行 同九時(分、京) 関の修養 放行 行和。(一) 英建文章 以行衛帝道 同九時(分) 氣象通歌(卷山) ノニ) 山田 概 業組 ツッケ年前六時(東)ラデオ贈撮 ッッケ 一放送

香幣上段▽飯

柳雨季は-



内地宏帯地(伏木直行、新潟、直田、雅川、海峡、闽流、小線
今年地内設計式色茂質響船ミント
※内京流量・水本は大河延信・河南・南
※内京流量・水本は大河延信・河南・南
※内京流量・水本は大河延信・河南・河水河各戦航航米内流调応り、次瀬各戦航航米内流调応り、直

通り巻行

国金瓜服役员为 钢鮮郵船定期出帆 嶋谷汽船株式會此

行(急行)毎日

B F

最もお腹を壊し類 称ちゃんのお乳には

ローを傳ふ夏の魅力 レッキスの美味!ス

レッテル二枚で大景品附特賣中 とかく體に變調を來 格の競者の源泉の合成組織の合成 ししょる

日大月十九日

大旦 干日 八廿一月日

X110 1年11日帝帝国出

日の出を葬む ンをのむ それで1日爽快

分回二6な方女少・髪洋

錢 五

闘大・會商潮長社會式株鹼石王花・京東

い御洗髮/ はじめて

美髪劑が作用いて 味へる明るい 花玉シャンプーを使って お髪の色艶って

WWWWWWWWW

船出帆

大月廿二日 大月廿四日

高杉商店回漕